



第7章 計画推進に向けた体制と方法

(1) 評価指標

計画の推進にあたっては、具体的な施策の進捗や効果を的確に把握するために、単に自転車走行空間の整備延長などの外形的な「アウトプット指標^{*8}」だけでなく、施策実施による効果が市民や自転車利用者等により実感できるような「アウトカム指標^{*8}」を設定し、計画の評価・見直しを行いながら進めていく。

1) アウトプット指標（活動指標）

最重点項目についてアウトプット指標を設定し、目標達成を目指す。

表 7-1 アウトプット指標（活動指標）

	最重点項目	指標		計画策定時 (H21年度)	前回計画改訂時 (H25年度)	現況 (H29年度)	目標 (H34年度) (2022年度)	備考
はしる 走行 空間 計画	①ネットワーク 路線等の 自転車走行 空間の確保	自転車走行空間 の整備延長 (整備率)		-	6.4km (2%)	74.6km ^{*1} (27%)	150km (54%)	ネットワーク 路線延長： 279km (うち、観光推進 路線 40km)
とめる 駐輪 計画	①新潟駅周辺 の駐輪場整 備	駐輪場の	新潟駅 周辺	4,425台 (98%)	4,404台 (98%)	4,404台 ^{*2} (98%)	4,500台 ^{*2} (100%)	目標： 4,500台
			古町 地区	324台 (16%)	811台 (41%)	1,546台 (77%)	-	目標： 2,000台 ^{*3}
	③まちなかの 駐輪場整備	万代 地区	313台 (31%)	313台 (31%)	951台 (95%)	1,000台 (100%)	目標： 1,000台	
しくみ 放置 自転車 対策	-	-		-	-	-	-	最重点メニ ューなし
まもる 啓発 活動 計画	①交通安全 教室の開催 ^{*4}	-		-	-	-	- (継続実施)	
	②街頭での 直接指導	1年に1回以上 啓発活動を実施 する整備済み 路線数		1路線	1路線	8路線	11路線 ^{*5}	

*1：現況の74.6kmの内訳は、前計画のネットワーク路線43.1kmとネットワーク路線以外31.5km（自転車歩行者道活用の21.2kmは含まない）。

*2：現況では仮設駐輪場3,033台を含む。目標4,500台は本設での整備台数。

*3：古町7番地区第1種市街地再開発完成後に駐輪実態調査を行い、見直しを行う予定。

*4：①交通安全教室は、新潟市以外にも多数取り組んでおり、正確な開催数の把握が困難であるため指標から除外した。

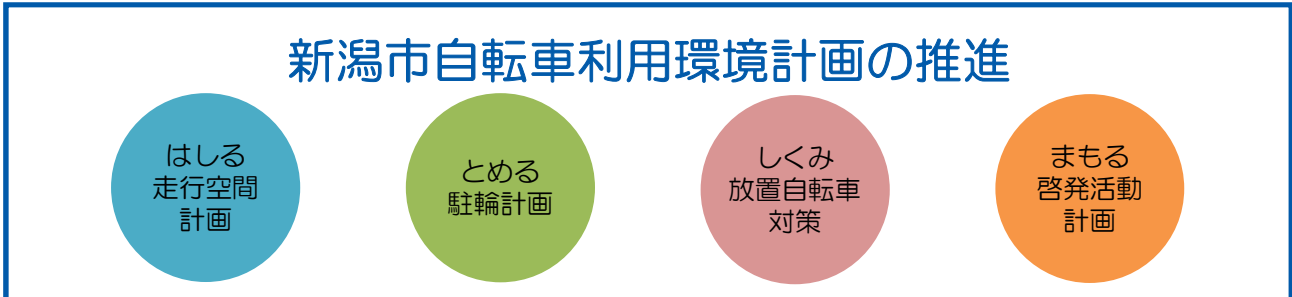
*5：東区、中央区、西区は各2路線、北区、江南区、秋葉区、南区、西蒲区は各1路線



2) アウトカム指標（成果指標）と市民満足度

アウトカム指標を設定し、新潟市自転車利用環境計画の推進により目標達成を目指すとともに、市民満足度（市政世論調査の満足度）アップも目指す。

表 7-2 アウトカム指標（成果指標）と市民満足度



■ アウトカム指標

指標	計画策定時 (H21 年度)	前回 計画改訂時 (H25 年度)	現況 (H29 年度)	目標 (H34 年度) (2022 年度)	備考	
自転車分担率	—	9.1% (H23 年度)	7.5% (H28 年度)	↗	新潟市内都市交通特性調査	
自転車事故	742 件 (H21 年)	564 件 (H24 年)	275 件 (H29 年)	↘	交通年鑑、新潟県警察資料による	
通行区分 順守率	—	10%	44%	60%	主要 8 路線の整備前後の調査を比較	
路上 駐輪 台数	古町 地区	1,617 台 (H21 年度)	—	715 台 (H29 年度)	400 台 (約 8 割減)	路上駐輪台数調査の比較
	万代 地区	554 台 (H21 年度)	—	33 台 (H29 年度)	↘	路上駐輪台数調査の比較

■ 市民満足度

項目	計画策定時 (H21 年度)	前回 計画改訂時 (H25 年度)	現況 (H29 年度)	目標 (H34 年度) (2022 年度)	備考
走行空間整備 (はしる)	—	15.6%	15.9%	↗	H25 年度は「第 40 回市政世論調査」、H29 年度は「第 44 回市政世論調査」より 次回は H34 年度に実施予定
駐輪場整備 (とめる)	—	19.0%	20.4%	↗	
放置自転車対策 (しくみ)	—	20.2%	28.3%	↗	
啓発活動 (まもる)	—	11.5%	15.5%	↗	

※設問に対する回答のうち、「満足」、「やや満足」と回答した割合



(2) 取り組み計画と体制

計画内容が具体的に推進するように、関係者との連携・協力体制を構築し、取り組みを実施していく。

	施策メニュー	実施内容	年度					主な実施 (協力)体制	
			H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)		
はしる 走行 空間 計画	①ネットワーク 路線等の自転 車走行空間の 確保	自転車ネットワーク路線 の選定基準の見直しとネ ットワークの再設定	実施						・土木総務課
		新潟市自転車走行空間 整備ガイドライン※ ³ の見 直し	実施						・土木総務課
		走行空間を年次計画に 沿って整備	整備						・土木総務課 ・各区建設課 ・東西土木事務所 ・新潟国道事務所 ・(新潟県警) ・(交通事業者)
とめる 駐輪 計画	①新潟駅周辺 の駐輪場整備	高架下駐輪場整備の検 討	整備検討				工事着手	・新潟駅周辺整備 事務所 ・中央区建設課 ・土木総務課 ・(JR 東日本)	
		既存駐輪場の放置自転 車対策	実施						・土木総務課 ・中央区建設課 ・(JR 東日本)
	②鉄道駅周辺 の駐輪場整備 (新潟駅以外 のJR 駅)	駅周辺駐輪場の駐輪実 態調査の実施	実施					・土木総務課 ・各区建設課	
		駐輪場の屋根、ラックの 設置必要箇所の把握	実施					・土木総務課 ・各区建設課	
		駐輪場の屋根、ラックの 整備優先度の検討	実施	整備検討				・土木総務課 ・各区建設課	
	③まちなかの駐 輪場整備	万代地区の駐輪場整備 の検討	整備検討					・土木総務課 ・中央区建設課 ・(新潟県警) ・(地元商店街)	
		古町地区の駐輪場整備 計画の再整理		実施	必要に応じて整備			・土木総務課 ・中央区建設課 ・(新潟県警) ・(地元商店街)	
	④バス停付近 の駐輪場整備	バス停付近の駐輪場の 設置必要箇所の把握	実施					・土木総務課 ・各区建設課 ・(都市交通政策課) ・(交通事業者)	
		バス停付近の駐輪場の 整備優先度の検討	実施	整備検討				・土木総務課 ・各区建設課 ・(都市交通政策課) ・(交通事業者)	

※3 参考資料(7)用語解説集(P.参-30)参照



	施策メニュー	実施内容	年度					主な実施 (協力)体制
			H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
しくみ 放置 自転車 対策	①放置禁止区域* ⁴ の拡大及び駐輪場の有料化	新潟駅南口地区、古町地区、万代地区の放置禁止区域の指定時期や範囲、規制時間を協議	協議					<ul style="list-style-type: none"> ・土木総務課 ・中央区建設課 ・(JR 東日本) ・(地元商店街) ・(地元自治会)
		新潟駅南口地区、古町地区、万代地区の駐輪場の有料化を検討	検討					
	②撤去の強化	放置禁止区域内の放置自転車の撤去の継続実施	実施					・中央区建設課
		撤去の緩和措置制度を検討	検討	必要に応じて実施				<ul style="list-style-type: none"> ・土木総務課 ・中央区建設課 ・(障がい福祉課)
		駐輪場内の放置自転車の撤去の継続実施	実施					・各区建設課
		今後使用予定のない駐輪場内の長期放置自転車を啓発し発生を抑制	検討	実施				<ul style="list-style-type: none"> ・土木総務課 ・各区建設課 ・(高校、大学、専門学校)
		今後使用予定のない駐輪場内の長期放置自転車を再利用する仕組みを検討	検討	実施				<ul style="list-style-type: none"> ・土木総務課 ・各区建設課 ・(自転車事業者) ・(高校、大学、専門学校)
		③自転車等駐車場の附置義務等に関する条例* ⁵ の改正	民間施設の駐輪場の適正な附置義務の整備台数を設定	検討	必要に応じて実施			
		駐輪場設置場所の配慮	検討	必要に応じて実施				・土木総務課
	④撤去自転車のリサイクルの推進	リサイクルの継続実施	実施					<ul style="list-style-type: none"> ・各区建設課 ・(自転車事業者)
		保管自転車の品質劣化防止策の検討	検討	実施				<ul style="list-style-type: none"> ・土木総務課 ・各区建設課
		処分自転車の売却方法の再検討	検討	必要に応じて実施				<ul style="list-style-type: none"> ・土木総務課 ・各区建設課 ・(自転車事業者)

※ 4、5 参考資料 (7) 用語解説集 (P.参-30) 参照



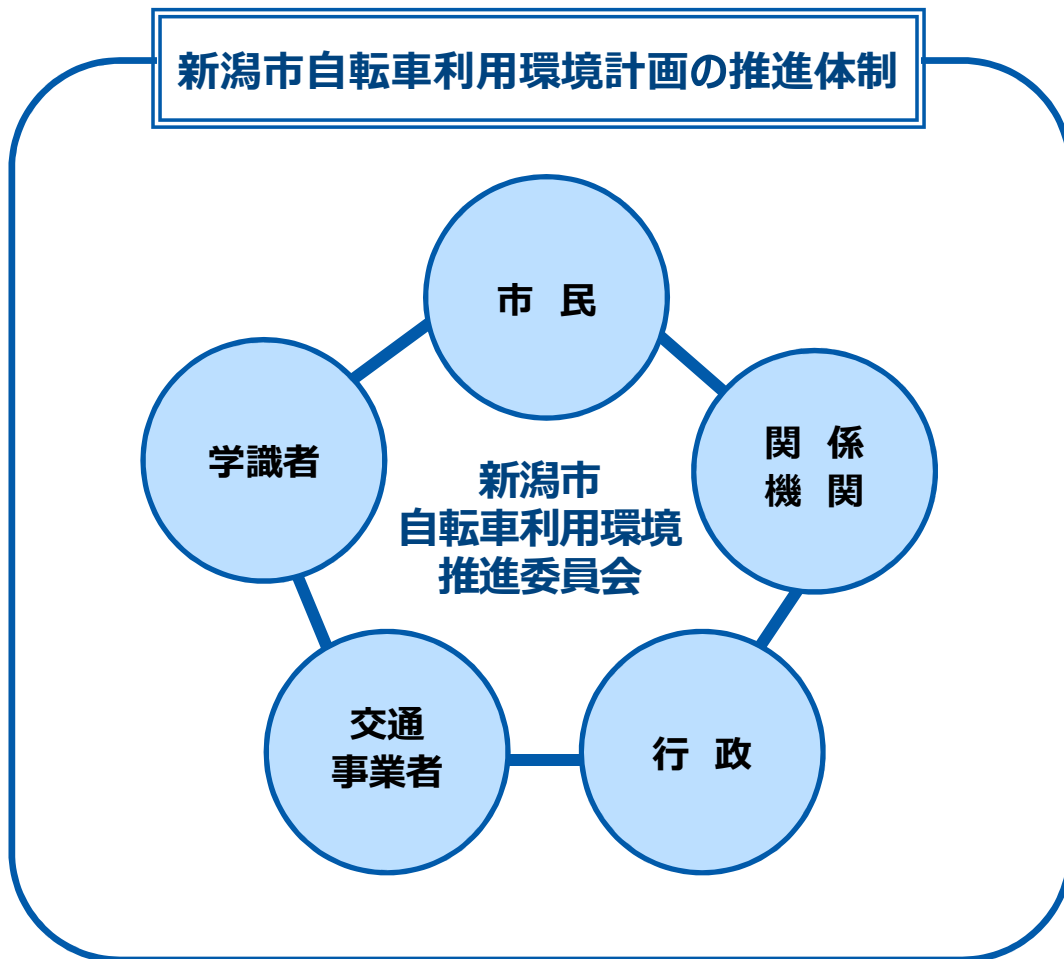
	施策メニュー	実施内容	年度					主な実施 (協力)体制
			H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
まもる 啓発 活動 計画	①交通安全 教室の開催	幼稚園・保育園、小学 校での活動の継続実 施	→ 実施 →					・市民生活課 ・各区地域総務課 ・(新潟県警)
		中学校・高校での活動 の継続実施・拡充	→ 実施 →					・市民生活課 ・各区地域総務課 ・(新潟県警)
		実施内容の改善	→ 実施 →					・市民生活課 ・各区地域総務課
		地域住民（特に高齢 者）に対する活動の 継続実施	→ 実施 →					・市民生活課 ・各区地域総務課 ・(新潟県警)
	②街頭での 直接指導	街頭指導場所及び指 導方法の設定	→ 実施 →					・市民生活課 ・各区地域総務課 ・土木総務課 ・各区建設課 ・(新潟県警)
	③自転車通 勤の推進	通勤時の自転車利用 促進策の継続実施	→ 実施 →					・環境政策課 ・都市交通政策課 ・土木総務課
	④シェアサイ クルリング※ ⁶ の推 進	観光目的のレンタサイ クル※ ⁶ 事業の継続実 施	→ 実施 →					・各区レンタサイ クル事業担当課 ・(にいがたレンタサイクル)
		企業参入型のコミュ ニティサイクル※ ⁶ の導入 の促進	→ 検討 →					・都市交通政策課 ・土木総務課 ・(にいがたレンタサイクル)
	⑤チラシやホ ームページ等 による情報発 信	ポスター、チラシ、ホーム ページ、SNS、広報 誌、マスコミ等による情 報発信の継続実施・ 拡充	→ 実施 →					・土木総務課 ・各区建設課 ・市民生活課 ・各区地域総務課
		自転車購入店での啓 発チラシ配布の継続実 施	→ 実施 →					・市民生活課 ・(自転車事業者)
		自転車 Web マップの 作成	→ 検討 →	→ 運用 →				・土木総務課
		注意喚起看板等の設 置箇所の抽出	→ 抽出 →	→ 整備検討 →				・土木総務課 ・各区建設課
	⑥サイクリ イベント※ ⁷ の開 催	大規模サイクリイベ ントの継続実施・拡充	→ 実施 →					・スポーツ振興課 ・(自転車関連の 団体)
		区のサイクリイベ ントの実施の検討	→ 実施 →					・各区事業担当課
		自転車に親しみを感 じてもらうイベ ントの継続 実施・拡充	→ 実施 →					・市民生活課 ・(自転車関連の 団体)

※6、7 参考資料（7）用語解説集（P.参-31,32）参照



(3) 計画の推進体制

「新潟市自転車利用環境計画」の推進は、市民、学識者、交通事業者、関係機関、行政からなる「新潟市自転車利用環境推進委員会」が中心となり、毎年度もしくは、一定期間ごとに計画の進捗状況や評価指標における効果等を把握し、計画内容の改善や施策の重点化を図りながら、継続的に計画を推進していくものとする。





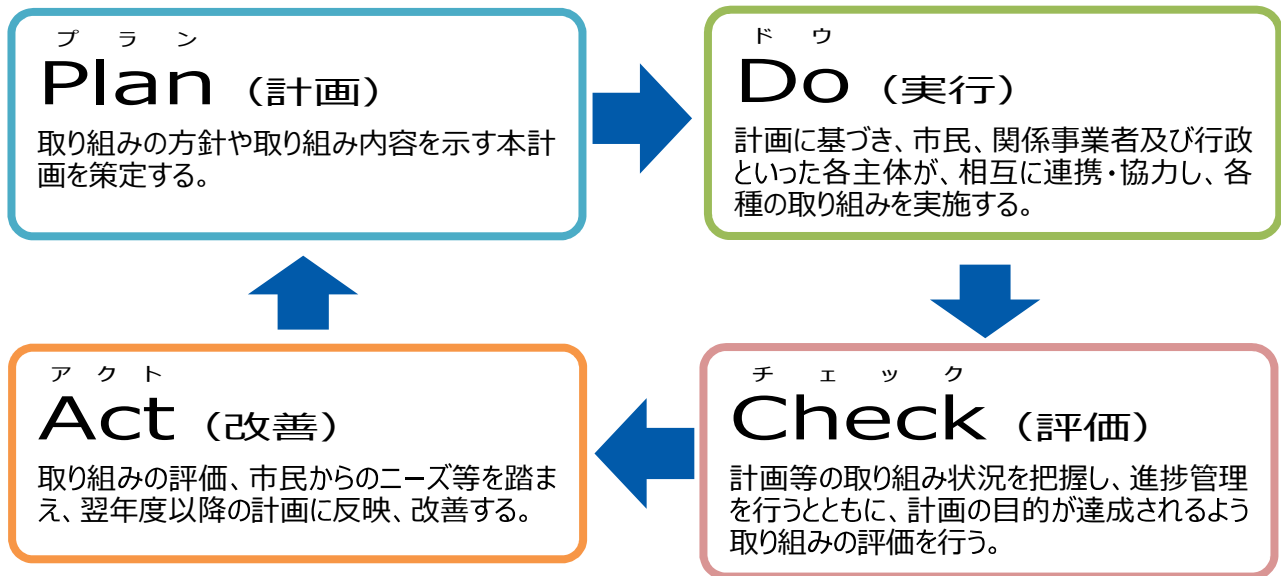
(4) 計画の評価

1) 計画評価のサイクル

本計画を計画的に推進し、内容の改善を図るためには、取り組みをしっかりと実施した上で、その状況の把握、進捗管理を行うとともに、本計画の目的が達成されるよう、取り組みの評価を行い、その評価や市民からのニーズ、社会情勢の変化等を踏まえ、その後の計画に反映していく必要がある。

本計画の検証方法として、下記のようにPDCAサイクル^{※13}を導入し、「新潟市自転車利用環境推進委員会」により、確実な進捗管理を行い、継続的な計画の推進を図る。

【施策のPDCA サイクル】



各アウトプット指標について、フォローアップ調査（指標に関する継続的調査）を行いながら計画をすすめ、目標年である平成34年度末（2022年度末）までには「新潟市自転車利用環境推進委員会」を開催し、達成度評価を行うことを予定する。

【フォローアップ調査・計画】

アウトカム指標 (成果指標)	調査方法	年度				
		H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
自転車分担率	新潟市内都市交通特性調査				調査予定	調査予定
自転車事故	交通年鑑、新潟県警察資料	調査予定	調査予定	調査予定	調査予定	調査予定
通行区分順守率	交通量調査					調査予定
路上駐輪台数	路上駐輪調査			調査予定*1	調査予定	調査予定
市民満足度	市政世論調査					調査予定

新潟市自転車利用環境
推進委員会
(達成度評価)

*1：古町地区のみ

※13 参考資料（7）用語解説集（P.参-35）参照